

## 医師や多職種と連携を図り、365日手術に対応しています

当院手術室は、広島中央二次医療圏で唯一、365日手術対応可能な施設として重要な役割を担っており、緊急度の高い手術にも迅速に対応できるように各診療科、他部門との連携を常に図っています。手術件数は年々増加傾向にあります。

患者さんが安心して手術に臨まれるよう、そして手術後に、手術をして良かったと感じることができるよう、術前訪問・術後訪問にも力を入れており、手術看護の質向上に努めています。

その他にも、骨粗鬆症マネージャー、DMAT隊員、BLS/ACLSインストラクター等、多方面でも活躍する人材が所属しており、手術業務以外でも地域医療の質向上に尽力しています。



### 継続看護と開かれた手術室に



11年目看護師  
本岡 靖浩

私は他の病院で内科、重心、救命病棟、手術室勤務を11年経験し、地元の東広島医療センターの手術室に転勤してきました。手術室では毎日、各科の大きな手術、小さな手術に加え、緊急手術も行っていますが、患者さんにとって、人生を大きく左右する場所にもなり得る場所であると思っています。手術を行う決断をした患者さんの想いに寄り添い、専門領域の看護師として、また、一人の人間として、どう援助できるか、人間対人間を日々考えることができるやりがいのある職場です。

私自身、病棟経験が長かったので、手術室はどうしても閉鎖的で関わりにくいイメージでした。私は、病棟看護師の方とも積極的に術前、術中、術後の管理について交流でき、手術室業務の可視化、入院から手術、退院まで継続看護が行えるような開かれた場所にしていくために、日々取り組んでいます。

### スタッフ一人ひとりが「やりがい」をもって 生き活きと働けるサポートを



副看護師長  
西原 壱

私たち手術室看護師は、患者さんの闘病に対する不安や期待など様々な感情を受け止めながら、「安全安楽に手術を遂行する」ことに最大限の努力を費やしています。生命に直結した厳しい現場ですが、術後訪問で患者さんから「あなたが担当してくれてよかった」という言葉を頂くことが、なによりうれしいと感じます。

副看護師長として、専門性も高くやりがいのある手術室看護に対し、スタッフ一人ひとりが「やりがい」をもって生き活きと働ける環境をサポートしていきたいと思っています。